



Contents



第1章 サルとヒトのなかまたち 3

サルとヒトは「霊長類」 3

旧世界ザル —ニホンザルやヒヒ、テングザルのなかま— 4

旧世界ザルってどんな動物？ 4

類人猿・ヒト —わたしたち人間を含むグループ— 6

類人猿・ヒトってどんな動物？ 6

新世界ザル —リスザルやマーモセット、クモザルのなかま— 9

新世界ザルってどんな動物？ 9

メガネザル類 11

メガネザルってどんな動物？ 11

曲鼻猿類 —ロリスやガラゴ、キツネザルのなかま— 12

曲鼻猿類ってどんな動物？ 12

サルとヒト、どこが似ている？ 14

第2章 サルとヒトがたどった道 15

第3章 くらしとかたち 20

あるき方・いろいろ 20

手のかたち・いろいろ 21

「社会」のかたち・いろいろ 22

トピックス：とっとりとサル学 —伊谷純一郎博士の軌跡— 26

第4章 ヒトってなんだろう？ 28

ヒトってどんな動物？ 28

ヒトのたどった道—ヒトはなぜこのような「かたち」になったのか— 29

さまざまなヒト：人類の進化は、複雑だ 36

特別解説 「アジアの人類進化研究最前線」 38

チンパンジー・ボノボの「行動」 —となりはなにをするヒトぞ？— 42

特別解説 「チンパンジーは他者と協力できるか？」 46

特別解説 「チンパンジーの胎児の行動と出産メカニズム」 50

①マンドリル、②シロテテナガザル、③ニシゴリラ、④フィリピンメガネザル、⑤ワオキツネザル、⑥ニホンザル [④⑤写真：高橋克之、⑥写真：中村忠昌]

本書は、鳥取県立博物館企画展「サルとヒト —ヒトってなんだろう？—」(会期：平成25年7月13日～8月25日)の展示解説書である。

